

Title	編集後記 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1948
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.41, No.8 (1948. 8)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19480801-0065">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19480801-0065</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

長である。あるいは、結合的統一體なるものは諸家長相互間の紐帯である、ということのうちに、より強くあらわれ得る。これに相應して、この社會の形態は、その場合、あるいは、より專制的であり、あるいは、より民主的である。〔草稿一四頁〕乍然、結合的統一體が名目上の所有者であり、各共同體が事實上の所有者であると言ふ原則に於ては變りがない。

かくして、共同體の成員は、たとへ共同體に對する關係に於てその偶發性であり純自然的構成分子であるにせよ、結合的統一體に對する限り、「獨立性」を有する事が可能である。『斯かる諸條件の下に、彼等をして名目上の地主のため餘剩勞働をなさしめるためには、如何なる形態のものにして經濟外の強制を以てするよりほかはない』〔資本論〕第三卷下三三〇頁

この場合それが、貢納制である事は、吾々が最初に見た通りである。貢納制を通じて各共同體の餘剩價値の搾取が實現される。本來的には社會的職務遂行の爲の諸費用の支辨、殘餘は「經濟機構上のコブとして」〔草稿一八頁〕の巨大な諸都市に於て浪費される。

\* その用途につき、「草稿」三頁及び「資本論」第一卷第二分册五六頁参照。

生産力の停滯が之に相應すべきものとして農工未分化及びその維持を可能ならしめる、——「集團……の存在を保證する」と

ころの工業および農業の統一」保證する！勿論かくして維持される農工の未分化は、當然共同體をして自然經濟の段階に固定せしめるものであり、「此等の共同體に於ける生産を自身は……商品交換に依つて媒介される所の分業からは、獨立したものととなつてゐるのである。而してたゞ過剰の生産物のみが商品に轉化されたのであるが、それも一部分には、國家の手を通じて初めて行はれるといふ有様であつた」〔資本論〕第一卷第一册三三八頁

以上述べた如く、農業と工業との結合未分化の段階に於ける生産力と貢納制生産關係とをその内容とするアジア的生產様式は、奴隸制生産様式とも亦農奴制生産様式とも全く異なつた生産様式である事は極めて明白である。それは決して岡本氏の云はれる如く「種族的または民族的諸關係の維持のうゑに歴史的に發生した、アジアに特有な、未發達の奴隸制的な生産様式」〔岡本氏前掲論文三一九頁〕ではなかつたのである。

——廿三、六、廿六——

編輯後記

○レットテルというものがある。レットテルをみれば、たとえば鐵詰ならば、開けてみなくても、中味も、もしも信用がおけるものなら中味のよしあしまでも、けつきりとわかる。レットテルは商品の種類によつて、規格によつて、商品分類する合理的な標準となる。このようにして、レットテルは、資本制の商品生産の發達にもなつて、また大量生産の基礎のうゑに、ますますその偉力と特色を發揮するのである。だが、商品生産の未發達な段階にあつては、あるいけまた品質の均一大量生産の困難な商品の場合には、レットテルはかえつて購買者の判断をあやまらせることに役立つ場合がある。前の場合には、應々にして「粗製濫造」の大きすぎる外被として、また後の場合には、それぞれの特質やニュアンスを一色にぬりつぶしてしまふ卑俗化の窮屈な外被として。しかも、商品經濟の發達は一切のものを商品化する特質をもつ。このような關係において、とくに資本制生産方法のおくれで發達した國々において「外被」としてあたえられたレットテルは、それが一つの「權威」をもち、事物をその本質においてではなく、無反省に、そのレットテルによつて判断する傾向を助長するということになる。獨特の「レットテル文化」なるものがこのようにして發生し、成長する。

○ところで、レットテルのこのような規格性、卑俗な概括性の作用のもとに、學問上の「論争」がレットテルを張ることになり、レットテルによつて行なわれ、あるいけまたレットテルを張ることに終るとしたならば、どういふことになるであらうか。日本の學界において「學派」が形成されずに、レットテル的分類が横行することについて、とくにいま戒心されるべきでなからうか。

○本誌はこのような「レットテル文化」の卑俗性に對して、それを極力排除しようとするものである。(M)

昭和二十三年七月二十五日印刷 第四十一卷  
昭和二十三年八月一日發行 第八號

本號定價 金三十拾圓  
送料 四圓

編輯者 高村象平  
發行所 東京市港區芝三田豐岡町八  
印刷所 東京市港區芝三田豐岡町八

豫約購讀料 一年分 金四百圓(送料共)  
半年分 金二百圓(送料共)

豫約購讀料は發賣所宛お拂込み下さい  
誌代變更の場合は精算決濟致します  
編輯に關する用件は發行所へ  
營業に關する用件購讀申込は發賣所へ願ひます

發賣所 慶應義塾經濟學會  
東京市港區芝三田二ノ一  
日本出版協會員A二二〇二六

發行所 慶應出版部  
東京市港區芝三田二ノ一  
日本出版協會員A二二〇二九